

# HOTeye

心と心のかよあう福祉の情報誌

ホットアイ

2022 Vol.109

- P1 **特集** 社会福祉事業所紹介  
自然を感じる園舎は“遊べる保育園”  
社会福祉法人ひばり保育会 夜見保育園
- P5 チャレンジ福祉の仕事  
社会福祉法人ひばり保育会 夜見保育園
- P6 福祉専門職の紹介  
子どもの成長を日々感じられる喜び
- P7 福祉人材センター情報  
就職支援コーディネーターが  
あなたの就職をお手伝いします!
- P8 ボランティア・市民活動センター情報  
とっとりボランティアバンク登録団体紹介  
社会貢献団体「EGAO」
- P9 ボランティア・市民活動センター情報  
認定NPO法人 ハーモニカレッジ  
「自分らしく」生きられる社会へ
- P11 ことぶき高齢者情報  
令和3年度 鳥取県高齢者健康運動会
- P12 ことぶき高齢者情報  
いきいきシニア
- P13 鳥取県社会福祉協議会からのお知らせ

自然と遊び、人と地域で育む保育

# 社会福祉法人ひばり保育会 夜見保育園

米子市の秀峰大山を望む弓ヶ浜の近くに「夜見保育園」があります。  
2017(平成29)年に完成した園舎と、翌年にできた学童保育棟と園庭は  
「2019年度グッドデザイン賞」を受賞した建築空間です。  
「自然を感じる園舎」をキーワードに設計され、  
風・水・光を感じ、異なるさまざまな材質感も感じられ、  
全身で自然を実感できる“自然を体感しながら遊べる保育園”といえます。  
そして「自分を愛し」「人を愛し」「地域を愛する」ことを大切にしながら  
2014年に市立保育園から受継いだ、地域とのつながりを深めています。  
自然と遊び、そして人と地域で育む保育の姿をのぞいてみました。



※取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。

# 自然を感じる園舎は、遊べる保育園



1階のランチルーム兼遊戯室(ホール)から2階に登り降りできるネット遊具

がす子ども目線の空間であるべきだというコンセプトで造られたのが新しい夜見保育園です。

## 遊びながら学び、人間形成につなげる

「さまざまな自然の要素や素材を日常的に感じることで、興味や関心を広げてほしいという思いから、子どもたちのためのさまざまな工夫と、こだわりのある園舎ができました」と話すのは、園長の佐藤比登志さんです。

例えば「薪ストーブ」は、火を見る



2階から1階の調理室が見られるほか各保育室も見られる開放的な造りに

体験が少なくなった子どもたちに、火が安全に燃えること、そして暖かいつつことを経験し、学んでほしいとの願いから設置しています。

また、園舎の壁に用いている「土壁」や「石造りの下駄箱」は、今では少なくなった土壁を見たり触れたりして土を体験したり、日常的に石に触れたり見たりすることで、自然素材の体験や歴史を学んでほしいと佐藤園長は話します。

施設は、児童棟と保育棟と、その間に水遊び場を設け、全面芝生の園庭で構成されています。各棟の外周の建具は全開放することができ、子どもたちは弓ヶ浜からの風や自然の香りを感ずることができます。

そして建物各部には、さまざまな

社会福祉法人  
 ひばり保育会  
 夜見保育園  
 さとう ひとし  
**佐藤 比登志**  
 園長

自然素材を用いており、手や足、目で素材に触れることで得られる感覚的な刺激は、子どもたちの脳を刺激し、発達に良い影響を与えます。

部材はできる限り地場素材を使い、地元を知る機会を与えて愛着形成を図ります。また、子どもたちに

自然を感じることは、子どもが物事を探知したり考えたりする乳幼児期において重要だとされています。そのようなことから、自然を体感しながら遊べる保育園である夜見保育園は、鳥取県「子育て王国鳥取県」の『とっとり自然保育認証制度』で認証園となりました。

子どもたちのすべての行動は「探究活動」であり、遊びの中で多くのことを学びます。そのステージとなる園舎は、大人の都合や大人の目線ではなく、子どもたちの成長をうな

# 社会福祉法人ひばり保育会「夜見保育園」

※取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。

とって記憶をつなぎ止める場所となり、物を大切にすることを育みます。そんな夜見保育園の園舎は、遊びながら学び、人間形成に役立てられるように造られています。

## 地域との交流と連携で子どもたちを育む

夜見保育園では、公立保育園であった頃からの地域交流を受け継ぎ、地域とのつながりも大切にしています。園の近くにあるお寺、迎接院の「寺子屋サロン」では、地域の方々とともに、釈迦の残した教えや徳に感謝する「涅槃会」に園児が参加して世代間交流をしています。

また夜見地区敬老会に参加し、園児が歌を歌ったり「銭太鼓」を披



迷路のようなステンレスミラー貼りの幼児用トイレ

露したりするほか、地区公民館祭りでは、園児の作品を展示し、地域の方々に見てもらうなど、核家族化が進む中で世代を超えた交流を深めています。

そして、弓ヶ浜地区の「弓ヶ浜中学校区教育連絡協議会」に参加し、保育園や幼稚園、小学校・中学校など、それぞれの施設や学校における子どもたちの現状について意見交換をして、情報を共有することに努めています。

校区の幼児・児童・生徒の健全育成のため、保幼小中学校の連携を図り、共通理解と教育実践について研究協議を行い、子どもたちを見守っています。

このように、子どもたちの社会性を育みながら育ちを見守る、地域との交流と連携が親密に行われています。

## 子どもたちを育む姿勢

「子どもたちは、育つ能力を持って生まれています。私たちはその能力を引き出す援助をします。そのために、一人ひとりの子どもたちの発達過程や、心身の状態を観察し、目の前の子どもがいかに育とうとしているのかを知り、実態を把握して受け



ランチルーム兼遊戯室(ホール)左側の園児が登っているのが「石造りの下駄箱」で、その横に「新ストーブ」。その奥は、2階から滑り降りられる「滑り台」。(女王様間もなく)

入れるようにしています。そして、その発達過程や心身の状態に応じた適切な援助と保育活動を心掛けています」と、保育士として10年目の松本麻子さんは話します。



松本麻子さん

また、生きるために必要な食事、休息、遊びのバランスを考え、園生活をしていきますが、応急手当普及員認定を受けた職員による応急手当の実技訓練を行うなど、健康と安全のための体制と環境づくりも心掛けています。

そして、保育者にとって保護者は子どもたちを育むパートナーです。「子どもたちを理解するため、子どもたちの発達について情報発信を行い、保護者と情報を共有することは不可欠です。保護者の想いを受け止める『保護者会』も積極的に開催しています」と松本さんは話します。

### 子どもと大人がワクワクしながら共に育み合う

夜見保育園は、動物などのキャラクターを使ったり、鮮やかな色遣いなどはやめて、自然の中にある本物の素材で園の雰囲気をつくり出しています。

また、子どもたちがいつも触れて五感で感じられる環境を構成することで、子ども自身が生まれるながら持っている感性を豊かに育む機会を持たせ、発育に役立てようとしています。

下駄箱の周りの石は、壁となることで好奇心がそそられ、ロッククライミングが始まり、遊びながら体力も育まれます。「登ってはいけません」ではなく、大人が容認し、子どもが安心して遊べる環境のもとで、自己肯定感も育まれ、豊かな学びが育まれていくようにしています。そしてある日のこと、登園が遅く



各保育室のサイン(灯り)は弓ヶ浜織で装飾



放課後児童クラブ室

なったら5歳児がいました。園長が子どもの受け入れや靴の始末などを見ていました。その子のクラスは散歩中で、子どもたちも保育士もいないので、しばらく一緒にいたところ「もう大丈夫だよ。お仕事いそがしいでしょ」と気を使ってくれたのでした。佐藤園長は「その園児の気遣いに心が温まると同時に、家庭と園で育まれながら、思いやり、優しさを身につけたんだと感動しました」と話します。

ここには、園舎の様々な工夫と仕掛けにより、多様な視点を子どもと大人が一緒に楽しめる日常があります。そして、過ごす時間が最も長い園での日々の時間と、人と町とふれあいながら一体となり、より豊かな生活につながっていくと思われました。

【概要】

- 所在地 / 鳥取県米子市夜見町1679-8
- 開設日 / 2014(平成26)年4月に米子市から当法人に移管
- 運営主体 / 社会福祉法人ひばり保育会
- 職員数 / 職員数26名(正職員10名・臨時職員等16名)  
内訳:園長1名、事務職員1名、主任保育士1名、副主任保育士3名、保育士13名、保育補助2名、栄養士2名、調理員2名、医師・歯科医師各1名
- 利用定員 / 100名
- 利用相談窓口 / 当該施設、運営主体



# Challenge チャレンジ福祉の仕事

社会福祉法人ひばり保育会  
夜見保育園

福祉分野の質的变化や制度改革などにより、福祉施設などではさまざまなキャリアや資格をもつ人材が求められ、それに応じて働きがいをもって福祉の仕事に新たにチャレンジしている人たちがいます。ここでは、福祉分野の仕事に就労し、情熱を燃やしている人たちを紹介します。

## 子どもたちに元気をもらえる仕事

保育士 廣山 春奈さん  
ひろやま はるな



身近に小さな子どもが多く、よく一緒に遊んでいたことや、妹が保育園の年長児のときの担任の先生が、パワフルで魅力的なところに憧れていたことから、保育士の道を選んだ廣山春奈さんは、今まさに保育士として年長児クラスを担当しています。

年長児は、目の前に就学をひかえていることから「子どもの興味関心が広がるような環境設定を行い、その中で自分たちが考え、行動できるように援助しています」と話す廣山さんは、より良い就学に向けて小学校と連携しながらのサポートも行っています。

保育士は、子どもたちの笑顔や成長が毎日見られるところが魅力であり、喜びとなります。「疲れたなあ〜



と感じることがあっても、子どもたちの何気ない一言や行動に笑われ、自然と笑顔になり、元気をもらっていることを実感します」と、廣山さんは話します。

また、「運動会や発表会などの行事で、子ども一人ひとりの頑張りや成長した姿を見て、保護者と一緒にその喜びを分かち合えるときは、本当にうれしく、この仕事について良かったと感じています」とも話します。

廣山さんは、鳥取短期大学を卒業し、夜見保育園に勤務して6年目です。保育の現場にいた当初は、「保育内容を考えたり、発達や環境に合わせた支援を考えたりと、怒濤の毎日」を過ごす中でやり甲斐を感じていました」と、忙しくて余裕のない中でも、この仕事の手応えを知ったと振り返ります。

そして「保育士＝子どもと遊ぶだけではないと認識しながら、子どもたちと全力で楽しむことを大切に、その中で良いことも悪いことも、その都度ほめたり、ごうしたらよいのかを一緒に考えたりと、一日一日が勉強で添える保育士をめざしています。

足立知佳子さんは、鳥取短期大学で保育士資格と幼稚園教諭2種免許を取得し、保育士としてひばり保育会に勤務して11年になります。そして現在は、夜見保育園の副主任保育士として1歳児を担当しています。

1歳児はまだ生活の基本を学ぶ時期であり、食事排泄衣服の着脱など生活習慣を身につける手助けをしています。が、「一緒にあそびながら、発達のことを考えてかわるようになっています」と、子どもの状態を連絡ノートや保護者との対話で把握共有し、協力しながら発育を応援していきたいと考えています。

また、就学までの乳幼時期は、子どもたちが大きく成長するときです。できなかったことができるようになるなど、子どもの成長を身近で感じられ、その頑張っている姿が見られることに、足立さんは喜びを感じています。

そんな中で、「子どもたちが喜び、楽しそうな表情が見られたときや、保護者から先生に見てもらって良かったです」と言ってもらえたときは、この仕事について良かったと思えます」と、子どもたちの笑顔と保護者からの感謝の言葉が、やり甲斐につながって



いるようです。

「短大での講義や実習とは違って、現場では初めて知ることが多く、仕事量の多さに、大変だとも感じ、とにかく必死でした」と、足立さんは入職当初を振り返ります。

そして「この先生に任せておけば大丈夫〜」と思われるような存在になることは、足立さんが保育士として、また保育にかかわる専門職としてめざす姿です。

しかしながら、まだまだ勉強や経験を積み重ねなければいけないと、謙虚な姿勢で子どもたちや保護者と真摯に向き合っています。

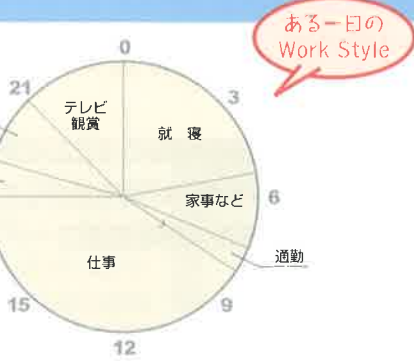
## 子どもの成長を身近で感じながら

保育士 足立 知佳子さん  
あだち ちかこ



# 福祉専門職の紹介 保育士

子どもの成長を日々感じられる喜び



社会福祉法人ひばり保育会「夜見保育園」  
まるやま  
保育士 丸山 あをいさん

保育士は0歳児から5歳児までの養護と教育を一体的に行います。安心安全を前提に、子どもの生命の保持や情緒の安定を図るための援助をしながら、遊びや主体的な体験を通して発達支援をします。

食事・睡眠・排泄・清潔・衣類の基本的な生活習慣を身につけるように促し、子どもの自立につなげます。そして、ルールのある遊びを中心とした生活や、地域の人々や保護者との行事などで、子どもの社会性を養います。

また子育ての専門家として、家庭との情報交換による連携や、子育てにおけるサポートも行う保育士は、たくさん子どもたちが成長する姿を見守り、支える、何物にも代えがたい喜びと充実感を与えてくれる仕事です。

保育士の仕事の内容、やり甲斐や魅力は何ですか？

今年度は担任を持たず、主任保育士としてすべてのクラスを見ています。子どもの発達状態に合わせて、食事や排泄、着替えなどの「生活習慣」の指導から、園での過ごし方のルールや約束事などの「社会性」の指導を行っています。

また、誕生会や運動会、季節の行事の企画・運営にもかわり、0歳児から5歳児までのすべての子どもたちの成長を日々感じられるところがこの仕事の魅力ですね。

「この仕事について良かった」と思うのはどんな時ですか？

元気な子どもたちから、笑いや癒しを与えてもらい、その笑顔に毎日パワーをもらっています。不思議に思ったことを一緒に調べたり、子どもも私も自然が好きなので、虫探しや草笛を作ったり、とにかく一緒に楽しんでいるときは、この仕事に就いて良かったと思えます。

仕事の中で大切にしていることは何ですか？

子どもたちや保護者はもちろんですが、職員同士のかかわりやふれあいも大切にしています。職員



がみんな協力し、連携しなければ、より良い保育・教育はできませんので、仕事にかぎらずプライベートなことなど、何でも話しやすい雰囲気と職場の空気づくりに気を付けています。



休日は何をして過ごしていますか？

動物が大好きで、我が家では犬1匹と猫4匹を「家族」として一緒に暮らしています。ドッグランで遊んだり、猫と遊んでいる時間は、癒されてリラックスできますね。また、自然の中でのんびりするの也非常好きで、ボイスカウト活動や家族でキャンプに出かけるなどしてリフレッシュしています。

※取材は感染対策を徹底した上で、撮影時のみマスクを外しています。

## 就職支援コーディネーターがあなたの就職をお手伝いします！

鳥取県社会福祉協議会では、きめ細やかなマッチングを行うことで更なる福祉人材の確保を図るため、介護職・保育士の就職支援コーディネーターを配置しており、専門的知識を活かして相談から職場見学、採用申込から採用後まで、求職者に寄り添った支援をしています。今回は介護職の就職支援コーディネーターの金山さん、宮本さんをご紹介します。

### コーディネーターって何をする人？

事業所情報を豊富に持つコーディネーターが、その人にあった事業所選びをアドバイス。施設見学の調整を行い一緒に見学に同行。定着に向けた支援を行っています。

### 誰でも相談できるの？

#### どうやって相談すればいいの？

福祉の職場に就職を希望する方は誰でも利用できます。就職を希望する方は福祉人材センターへ求職登録をします。ネット、来所、求職票の郵送により登録していただけます。

### 実際にどんなことをしているの？

転職を考えている方、初めて介護・保育の仕事に就こうと思っている方等、様々な思いで相談に来られます。どういう働き方を希望されているのか時間をかけてお聞きし、その方にふさわしい事業所を絞り込み施設見学を行います。求人票だけではわからなかった職場の雰囲気を感じてもらい、条件面等も確認し応募の参考にさせていただいています。求職者の方々からは「施設見学についてきてもらってありがたい」「いろんな情報が聞けて良かった」と喜ばれています。

長く働ける職場を  
選びたい…  
自分に適した職場が  
分からない…



福祉のお仕事をお考えの方  
就職支援コーディネーターに  
お気軽にご相談ください！

福祉の職場は  
初めてで不安…  
子育てしながらだけど  
大丈夫かしら？



### 金山コーディネーター

#### 東部地区 担当

介護事業所の立ち上げから関わり、自身施設長として事業所運営を行ってきた経験を活かし、豊富な情報の中から求職者の方々にふさわしい事業所を紹介していきたいです。

#### 〈趣味〉

至福の時：愛犬COCOちゃんと戯れ  
お気に入り：JAZZを聴きながら読書（最近は少年  
犯罪小説、薬丸岳にはまっています）  
週末の目標：奥さんの買い物の運転手、庭の手入れ



「思っていたのと違って」「こんなはずじゃなかった」と相談者の方々の話をよく聞きます。情報収集の一つに、ぜひ人材センターへ相談してみてください。

### 宮本コーディネーター

#### 西部地区 担当

直近は、介護労働者の雇用管理の改善、能力開発・向上を図るための総合的支援機関と福祉施設経営指導員として、併せて15年間勤務しました。これらの経験を活かして、介護のお仕事を探しておられる方に寄り添った支援をします。

#### 〈趣味〉

キャンプ、キャンプギア作り（アルコールストーブ他）  
星座鑑賞



人はみな違う個性を持ち、自由に行動や発信ができ、様々な選択ができます。福祉を担う人はそうした多様性を理解し、受け入れつつサービス向上に取り組むことが求められるのではないのでしょうか。

来所、電話いずれかの方法でお気軽にご相談ください。（無料）※土日・祝日・年末年始はお休みです。

### 鳥取県福祉人材センター

鳥取市伏野1729-5 TEL(0857)59-6336 受付：月曜日～金曜日 8:30～17:00



## とっとりボランティアバンク 登録団体紹介

### 社会貢献団体「EGAO」

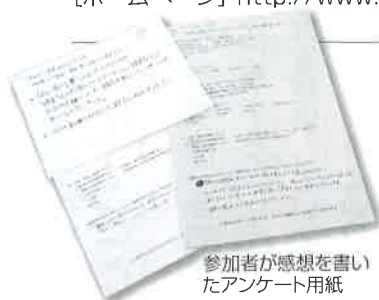
ボランティア活動に関心を持っている方が活動に参加する「きっかけ」を提供するため、県内の生活支援を中心としたボランティア活動や災害ボランティア活動情報を速やかに入手し、発信する場として『とっとりボランティアバンク』があります。

その中でも、ボランティアとともに活動したいという登録団体を紹介します。

[ホームページ] <http://www.torivc.jp/>



ある日の講座風景



参加者が感想を書いたアンケート用紙

で結びながら開催されています。福寄さんは、ある日のテレビニュースで、父親が児童虐待の末に自らの子どもを殺(あや)めてし

その講座は「子育ては、愛情×親のコミュニケーション」との考えで、愛情とともに親のコミュニケーションを高めることにより、親子の良好な関係を保ちながら、徐々に子どもを上手に上手に子育てのノウハウを学べる講座です。

2019年に設立してから毎月一回、10時30分〜12時に子育て中の親や子育て支援者を対象に(定員20名、託児あり)、米子市児童文化センターで全7講座をリアルとネット(オンライン)



代表の福寄広之さん

## 子育てを学ぶ場をつくり、みんなを笑顔に

「何故、実の娘を殺めてしまったのか?」「未然に防ぐことは出来なかったのか?」という疑問に対し、「その父親が子育てのやり方や助けの求め方を知らなかったのではないか」という考えに至りました。

そして、その根本にあるのは、現代社会における子育て環境の変化であり、孤立した育児によって、自己流の子育てでつまづいて困っている親が多いことは、まさに、無免許で車を運転しているような状態と言え、その先にある大きな事故、つまり児童虐待を未然に防ぐために必要なことは、子育てを学ぶ場をつくることだという結論に行き着いたのです。

毎回講座後に参加者に感想を書いてもらいます。「すぐに実践できるものばかり」「内容が具体的に勉強になった」「自分の子育てを客観的に見つめられた」「心が楽になった」など、喜ばしい感想がたくさん届いています。

取材の日に、娘のかんなちゃんを託児所にあずけて受講したのは八田一也さんと恵末さんご夫妻です。40代での出産で、相談相手もないことから5回受講してきた恵末さんは、「定期的に

受講することで、楽しく子育てができています」と笑みを浮かべます。「楽しそうに通っているので参加してみました」という一也さんは、「知識とテクニックとしてとても参考になり、来て良かった」と話します。



講座を受講した八田さんご家族

講座の申し込みを公式LINEアカウントで受け付け、参加者と継続的につながり、子育てで困ったときは、すぐに行政窓口と連絡できるようなっています。行政機関と連携して講座受講後も支援を続けることで、より良い子育てを広めることにつながり、福寄さんは喜びとやり甲斐を感じています。現在は主に米子市での開催ですが、講師を養成して東部・中部でも開きたいと考えています。

### 社会貢献団体「EGAO」

代表/福寄広之

【問合せ先】

鳥取県西伯郡日吉津村富吉500-1  
E-mail: manata.1005@gmail.com  
携帯080-0879-7154(福寄)  
TEL(0859)59-0221

## 認定NPO法人 ハーモニカレッジ

# 「自分らしく」生きられる社会へ

ハーモニカレッジ(以下カレッジ)では、自然豊かな場所でキャンプや乗馬、ポニーの世話を通して、世代を超えた仲間とともに生きる力を育み、たくましさや自信そして思いやりを身に付けられる機会を提供しています。理事長の大堀貴士さんは「自己存在を認識したり、他者の気持ちや想像するといった、現実原則を体験する機会が失われつつある」と危惧し、生命や自然と関わり合うことで個々を認め、「自分らしく」生きられる社会となることを目指した自然体験を大切にしています。



カウンセラー育成担当の阪本さん

### 自然体験活動の 経験を通して大学生 ボランティアを育む

2021年12月に鳥取市街地と日本海が一望できる場所にある空山ポニー牧場カレッジで、馬との関わりを通して学ぶポニーパーク自然体験活動が開催されました。幼児から大学生、保護者や不登校などで居場所を必要とする児童を対象に約50人の参加

があり、薄っすらと積もった雪の上を元気に駆け回る子ども達の歓声が上がっていました。そんな子ども達に愛称で呼ばれ、親しまれている大学生ボランティアとそのカウンセラー育成担当の阪本宜之(愛称:タイタン)さんに、美しい自然と馬と人との体験活動を通して皆さんへ伝えたいことをお聞きしました。

阪本さんは、大堀理事長の「子ども達の生活が知識教育や技術の習得、そしてバーチャル体験などの偏った考え方にならないよう、この体験活動を続ける」との思いに、心を動かされたと言います。そしてカウンセラー育成に取り組み、「大学生ボランティアが自ら計画したキャンプの企画・運営を通して、経験や知識を積むことで、自身の在

り方や将来像を設計するなどの社会人基礎力を育めるように尽力し、その成長を望んでいます。

### 子ども達の憧れ!心優しさ溢れる伴走者として

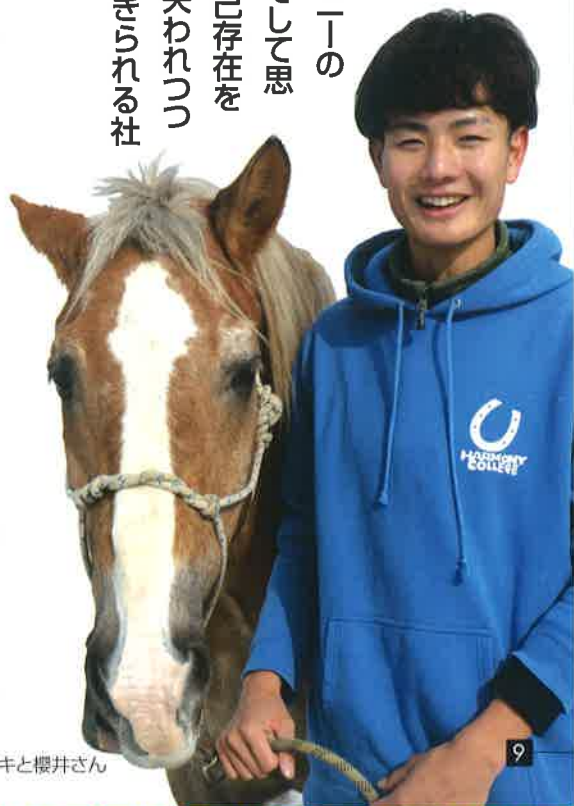
今回、カウンセラーとして参加する大学生ボランティアのお二人にお聞きしました。

中京大学2年生の櫻井亮輔(愛



櫻井さんと大澤さん(左から)

称:バギー)さんは、新型コロナウイルスの影響で入学してから一度も大学へ通えていない中、スタッフからの声掛けにより参加しました。「外に出て子ども達や仲間と一緒にいることで、心が明るく健康になって、人と触れ合う」というコミュニケーションの大切さを改めて実感している」と言います。そして愛馬との触れ合いでは、小さな変化や動きを推し量るよう、心の対話をしています。それは子ども達との向き合い方に似ていて「他人を思い、理解する事や相手を知ろうと等身大で向き合っていく」ということに自然と繋がっている」と感じています。子ども達のあまのじやくな反応に戸惑うこともありますが、想像力豊かな遊びを作り出すなど天才的な発想力には驚



愛馬のゲンキと櫻井さん

鳥取県ボラセン  
キャラクター  
「はーちゃん」



かされています。等身大に向き合  
い、子ども達の自由な発想力が引  
き出されるよう寛容な態度で接  
することで「心に寄り添う伴走者  
として自身の心の成長を感じる」  
と振り返り、「子ども達との関わ  
り合いがすごく好き。だからこそ  
学校に馴染めなかったり、生き辛  
さを感じている子ども達がありの  
ままでいられる居場所を見つけれ  
ないように、今後も関わり続け  
ていきたい」と将来に対する思い  
を話してくれました。

次に公立鳥取環境大学3年生  
の大澤明恵(愛称:ゼクシイ)さん  
は大学のサークル紹介をきっかけ

として参加しました。馬との接し  
方は難しく、慣れないのですが、  
愛馬とのふれあいの中で「懐いて  
くれるとかではなく、人もレベル  
アップしないと」コミュニケーション  
が取れないし、気持ち伝わらな  
い」と感じています。特に良い信頼  
関係を築くためには、伝えたい事  
を明確に伝えることが重要で、曖  
昧な伝え方はしないと云います。  
「最初は迷いがあり、きちんと思い  
を伝える事ができなかったけれど、  
そこは意識して克服するように  
してきました。でも、いまだに思いが伝  
わらない状況になってしまった時  
はドキドキ感がピークとなってバ  
ギーとかタイタンを呼んでヘルプ  
を求めます。また私より慣れてい  
る子ども達は自分達のできるこ  
とを、自ら進んでそれぞれの役割  
分担をして何とか助けてくれよ  
うとしています」と照れながら  
話してくれました。カレッジで  
は互いに助け合いながら一緒に  
なって困難を乗り越えたときの  
嬉しさと達成感を肌身で  
感じ、お互いが寄り添い支え  
合うという信頼関係がとて  
も嬉しく、少し怖いけれど  
も愛馬と関わり続けるこ

とができていと実感しています。  
**子ども達が「ワクワクす  
る」未来を願って**

阪本さんは今までに約200名  
に及び大学生ボランティアと関わ  
る中で「大学生たちはそれぞれ素  
晴らしい個性を持っている。のび  
のび活動をさせてあげる事で、そ  
の個性はどんどん発揮され、想像  
を越えた成長を遂げる。それは同  
時に、教え込まなくても、信じて任  
せる」ということを私に教えてく  
れている」と感じています。「大学  
生たちには主体的に生きるという  
ことを伝えていきたい。自分を認  
め、好きになることで自分の意見  
に自信を持って将来に向かって生  
きていける人になって欲しい。子ど  
も達には自然体験の中でじゃれあ  
いながら、相手の気持ちを考える  
コミュニケーションや関係性を築  
くことの大切さを学んで欲しい。  
そして人と関わるための思  
いやりを学び、培いながら、心  
豊かにワクワクでき  
る未来へと繋  
いでいける  
ことを望ん  
でいます」と熱



自然のなかで自由遊び

い思いと共に力強いエールを贈り  
ます。「卒業後も時折、牧場に里帰  
りしてきてくれるなど、一生関わ  
れる関係が紡がれる事が何よりも  
の喜びであり、やり甲斐となってい  
る。今の社会に必要とされるこの  
自然体験活動を続けていきたい」と  
と満面の笑顔が溢れ  
ていました。



愛馬アナと大澤さん

# 令和3年度 鳥取県高齢者健康運動会



福つりの様子

毎年恒例、高齢者健康運動会を東部地区で令和3年11月9日(火)、ヤマタスポーツパーク県民体育館にて開催しました。この運動会は、スポーツ競技を通して、日常生活における健康づくりや仲間づくりの大切さを認識し、活力ある長寿社会になるための健康づくりを目的として毎年県内3地区で開催しています。参加者の年齢は60歳以上の方が対象で、個人競技、団体競技があり、団体競技においては市町村対抗とし、順位に依りて表彰をします。

新型コロナウイルス感染拡大の

影響で、令和2年度は県内3地区全て中止としました。今年度は、感染拡大防止のため、参加人数を減らし規模縮小、時間短縮のため競技種目を減らすなど形式を変更しての開催となりました。9月に中部地区、10月に西部地区の開催も計画し準備を進めましたが、県内全域で感染が拡大したため中止を余儀なくされました。

今年度の東部地区は半日開催、約200名の参加者で例年より半分以下の参加人数でした。競技も個人種目の福つり、団体種目の関所破りとラダーゲッターの3種目に減らし、消毒はもちろん競技中の接触を避けるため、競技方法も工夫し感染対策を徹底して行いました。

関所破りは、関所にいる係員とジャンケンし、勝てば次の選手へ交代する競技で、『運』が勝敗の鍵を握っています。ラダーゲッターは、今年度初めて取り入れた競技で、1組10人で行い離れたところにあるラダーに向かってボールを投げ、バーに引っかかったボールの合計

得点を競います。事前に練習されている地域もあり、中には用具を自分たちで作るなど練習に力を入れているチームもありました。本番では、緊張もあつてなかなかボールが引っかからないチームや、引っかかっても他の選手のボールが当たり落ちてしまい得点が伸びないチーム、用具を見たこともなく、練習もしたことがないチームが高得点をたたき出すなど、最後まで結果がわからないハラハラドキドキの展開で大いに盛り上がりました。

一緒に笑い、応援し、ある時は勝負をかけて競い合う。これが高齢者の運動会です。コロナ禍で地域での活動が制限され、集まる機会も減ってきている中で東部地区のみではありましたが、互々に友達と会えてよかったといういろいろな声と交流が出来た等の喜びの声も聞かれ、自身の体力にあわせて運動競技に参加し、新しい出会いとともに仲間づくりが出来たことと申します。

## 《成績》

- ◆ 関所破り………優勝 河原町
- ◆ ラダーゲッター 優勝 若桜町



関所破りの様子



ラダーゲッターの様子



ラダーゲッターの様子

## 地域の方達と、ともに楽しみ合える喜び



ことぶきレポーターの取材より

県内の素敵な高齢者を  
同世代のことぶきレポーターが取材をします。  
「シニア」の「シニア」によるシリーズ。  
地域で頑張っている人、生きがいをもって暮らしている人など高齢者の魅力を余すことなく紹介します。



いつも元気でムードメーカー的存在であり、ボランティアを楽しんで

いる、鳥取市湖山町北6丁目の茶屋地区にお住まいの高島忠明さん(70才)にお話しを伺いました。

茶屋地区は田園地帯が広がり、新興住宅にお住まいの方と、昔から住み慣れた方との交流ある地域です。取材時に散歩をしながら高島さんからお話を聞きましたが、とても清々しい気分になるような風景でした。道を進んで行くくと地元の高校の畑があり、この畑の管理の手助けも

しているとおっしゃっていました。積極的に健康のことを考えながら行う活動が皆に活力を与えていると感じました。

高島さんは、地域で数々の役員をしておられます。地域に密着した区長・民生委員・自治会の代議員の他、地域の学校との連携をとり児童の健全育成にも力を入れておられます。何度か一緒に活動させていただきましたが、暗記文の朗読や野外学習の引率等では、子どもがリラックス出来るような雰囲気を作っておられました。自然体で自分自身も楽しみながら活動をされており、ご自身が負担と

感じられる様子は見受けられません。また、ラジオ体操がきっかけとなり、2年前から健康を考える交流の場として年中無休の「毎日クラブ」という会を立ち上げられました。こ



毎日クラブのみなさん



の会は、健康はもちろん歴史探訪やレクリエーション、日本古来の行事や年をとれば忘れがちな誕生会まで内容が豊富で、企画から実施までご苦労されているのではないだろうかと感じました。年中休むことなく、雨や雪が降る場合は屋内で活発な動きのストレッチをリーダーとなり指導しておられます。参加者の年齢は91才から64才と幅広く、約10名の参加があるとのことでした。

取材した日は晴天の早朝6時30分はまだ薄暗く気温が低い中、みなさんが薄着で元気いっぱいに体を動かしている姿を見て脱帽しました。毎日の習慣で体が鍛えられ、寒さでも慣れておられるのでしょうか。寒さが身に伝わる中、熱いお茶と干し柿が差し入れされ、普段からこのような好意がさりげなくされていることが窺え、ほのぼのとした雰囲気を感じました。お茶を飲みながら雑談が始まり、「仕事を辞めてこの会に入り、

地域との交流ができた」はじめの頃は思うように動かせなかった体が続けていくことでよくなったという声が聞かれました。

年中無休で運動を生活の上手に取り入れ、体力向上のために地域で集い、活動の中でコミュニケーションが生まれ、会話が弾むことで笑顔となり、毎日張りのある生活を送ることにつながり、二石二鳥のように思いました。この会の仲間達も高島さんと同様、明るく元気に満ち溢れた素敵なシニアでした。

高島さんは我が道をいくように見えますが、表舞台に出たがらない一面もお持ちです。普段から冗談ばかり言っている方ですが、取材後気遣いのお言葉をいただき、さりげない心遣いを垣間見ることが出来ました。地域に高島さんのようなお世話をする方がいることは、絆が深まって地域も活性化していくように思いました。いつまでも地域の方のために今まで通り頑張ってください。



取材を終えて一言  
清水 はるみさん(鳥取市)

年を重ねても、生き生きと地域の方と交流出来る幸せを、改めてしみじみ感じました。

## 令和4年度 第30回因伯シルバー大会 出場者募集

スポーツや文化活動を通して、鳥取県内の高齢者同士の交流の輪を広げ、健康と仲間づくり、生きがいづくりを促進するために、因伯シルバー大会を開催します。なお、本大会は令和4年11月に神奈川県で開催される「ねんりんピックかながわ2022」の鳥取県派遣選手の選考会を兼ねています。

- 応募資格** 鳥取県在住の60歳以上の方(昭和38年4月1日以前に生まれた人)
- 参加料** 無料(ただし、ゴルフは参加料2,000円及びプレー代が必要)
- 応募方法** 所定の参加申込用紙に必要事項を記入し、FAX又は郵便で申してください。  
実施要項及び申込用紙は、県社会福祉協議会、市町村社会福祉協議会、公民館等に設置しています。
- 募集締切** 令和4年4月15日(金)
- お問合せ・申込み先**  
地域福祉部 因伯シルバー大会申込係 TEL(0857)59-6332

日程	種 目	会 場
5月7日(土)	卓球	あやめ池スポーツセンター
	テニス	どらドラパーク米子 庭球場
	ソフトテニス	どらドラパーク米子 庭球場
	ペタンク	東伯総合公園 多目的広場
	弓道	どらドラパーク米子 弓道場
5月8日(日)	ソフトボール	どらドラパーク米子 スポーツ広場
	ゲートボール	米子市宮淀江スポーツ広場
	将棋	米子市文化ホール
5月14日(土)	健康マーじゃん	米子市大和公民館
5月15日(日)	囲碁	米子コンベンションセンター
5月17日(火)	ゴルフ	旭国際浜村温泉ゴルフ倶楽部
5月24日(火)	グラウンド・ゴルフ	チュウブYAJINスタジアム、養和会YAJINフィールド

※日程、会場は2月中旬時点のものであり、今後変更になる場合があります。最新情報は上記問合せ先に照会するか、競技団体に確認してください。

## とっとりボランティアバンクにご登録ください

**ボランティアの力を借りたい**  
**ボランティアをしてみたい**

そんなときは…  
**とっとりボランティアバンクにご登録ください!**

誰かのために力になりたい  
ボランティアしたいけどどこで募集してるの?  
ボランティアと一緒に地域を元気にしたい  
ボランティアの力を借りたい

**ボランティアバンクではこんなお手伝いをします**

**ボランティアの活動調整**  
ボランティアを募集する方と、活動する方との調整を行います。

**ボランティア活動に関する相談受付**  
ボランティア活動に関する困りごと、お悩み、助成金の申請方法など、何でもご相談ください。

**ボランティア活動に関する情報提供(メルマガ)**  
登録された方に、ボランティア募集やボランティアに関する講座・研修などの情報をメールなどで提供します。

**ボランティアバンクに登録いただくと…**

**ボランティアしたい人(団体)**  
県内外のボランティア募集やボランティア関連講座・研修などの情報を受け取ることができます。

**ボランティアの力を借りたい団体**  
とっとりボランティアバンクのHPやメルマガを通じてボランティア募集やボランティア関連講座・研修などの情報を発信できます。

登録したいと思ったら…

下記ホームページから登録いただくか、登録票に必要事項を記入のうえ、ファクシミリもしくはEメール、郵送にて送付してください。登録票は下記ホームページからダウンロードいただくか、お問い合わせ先にご連絡ください。

**ホームページアドレス** <http://www.torivc.jp/>



**f** ボランティアバンク登録団体の活動内容がFacebookで見られます。  
ご覧いただき「いいね」を送ってください。

●お問い合わせ・ご相談 福祉人材部 鳥取県ボランティア・市民活動センターまで TEL0857-59-6336 FAX:0857-59-6341

令和4年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

# ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	[新設] 特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円		
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額		6,500円		
	手術保険金	入院中の手術		65,000円	
		外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外 <sup>(*)</sup>		初日から補償	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは  
コチラ



(ふくしの保険  
ホームページ)

\*4月1日付で前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

## ＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。

◆年度途中でボランティア活動保険に加入する場合には「特定感染症重点プラン」への加入をおすすめします。

例えば、被災地での災害ボランティア活動や当初予定していなかったボランティア活動への参加にあたり、新型コロナウイルス感染症をはじめとした特定感染症への備えとして、特定感染症重点プランに加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

**ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

**送迎サービス補償** (傷害保険)

**福祉サービス総合補償** (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

# HOTeyeギャラリー

## ノームの糸車(就労継続支援B型) 作品紹介



「ノームの糸車」は大地のめぐみを受けているいろなご縁を紡いでいきたいという想いにより名付られた。「喜心循環」を企業理念とし、メンバーはもちろんお客様や職員、この場に集う方々の喜びが循環する場を目指しています。メンバーの興味や得意なことを活かし、「今日も楽しかった!来て良かった!と障がいのあるなしに関わらず、共に強みを生かしワクワクを共有しています。



### 作品作りコメント

羊毛フェルトのベースや手足などのパーツはあらかじめメンバーが日々の仕事として作っています。  
このパーツ式の羊毛フェルトワークショップは弊所独自のものです、1時間半で完成させることができるので参加者の方にとっても喜んで頂いています。  
\*「パーツ式羊毛フェルトキット」という名称で特許庁の商標登録され、ネット販売も行っております。

## 社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

〒689-0201 鳥取市伏野1729-5(県立福祉人材研修センター内)  
URL <https://www.tottori-wel.or.jp> e-mail [soumu@tottori-wel.or.jp](mailto:soumu@tottori-wel.or.jp)

福祉人材の  
求人・求職  
の窓口です

### 鳥取県福祉人材センター

TEL.0857-59-6336 FAX.0857-59-6341  
URL [http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/shigoto\\_top/](http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/shigoto_top/)  
e-mail [jinzai@tottori-wel.or.jp](mailto:jinzai@tottori-wel.or.jp)

ボランティア活動の  
幅を広げる  
活動を応援します

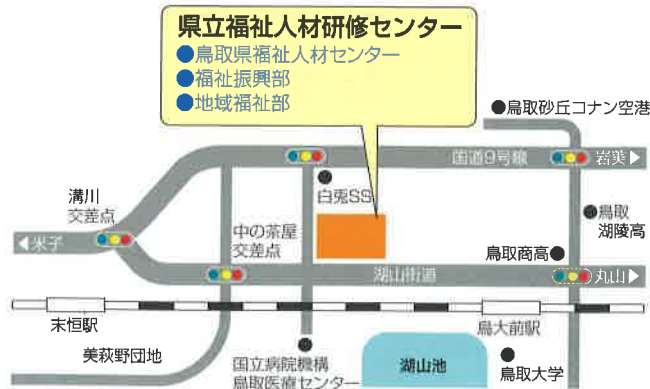
### ボランティア・活動支援担当

ボランティア担当 TEL.0857-59-6336  
福祉・教育担当 TEL.0857-59-6344  
FAX.0857-59-6341  
URL [http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/vol\\_top/](http://www.tottori-wel.or.jp/p/jinzai/vol_top/)  
e-mail [vc@tottori-wel.or.jp](mailto:vc@tottori-wel.or.jp)

元気な高齢者の  
生きがい・社会貢献  
を支援します

### 明るい長寿社会づくり推進事業担当

TEL.0857-59-6332 FAX.0857-59-6340  
URL <http://www.tottori-wel.or.jp/p/chiiki/kotobuki/>  
e-mail [kototori@tottori-wel.or.jp](mailto:kototori@tottori-wel.or.jp)



本誌について、また、福祉に関することについて  
県民のみなさまからの御意見をお寄せください。

